

給付管理業務に関する実習報告書（記載例）

受講番号：	グループ番号：	受講者氏名：
項 目	内 容	
介護報酬のしくみの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○が根拠規定になっていることを理解できた。 ・ ただし、○○○○や○○○などいろいろな別の定めがあり、非常に複雑なこともわかった。 ・ ○○○○や○○○○のような加算や減算の趣旨も理解できた。 ・ 介護報酬は、地域とサービスの種類によって1単位当たりの単価が異なることを理解できた。 ・ 算定要件を満たしていないまま介護報酬の支払いを受けていると、監査で5年間遡って返還命令を受けることがあることを理解できた。 ・ 介護報酬を詐取した場合は、事業所の指定取り消し処分を受ける場合もあることがわかった。 ・ 介護報酬は3年ごとに見直しが行われ、だんだん複雑になってきていることがわかった。 	
支給区分限度基準額のしくみの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護度別に、支給限度額が設定されていることを理解できた。 ・ 加算の種類によっては、支給限度額に算入されるものと、されないものがあることを理解できた。 	
利用者への利用料の説明と同意 【第6表、第7表の意味の理解】	（第6表） 記入要領を熟読し、主任介護支援専門員（実習指導者）から説明を受け、実際に作成したので理解できた。	
	（第7表） 記入要領を熟読し、実習指導者から説明を受けたうえで、一部実際に計算してみたので理解できた。	
給付管理票のもつ意味の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国保連に居宅介護支援事業所が提出する給付管理票の様式と、サービス事業所が提出する居宅サービス・地域密着型サービス介護給付費明細書の様式の関連性を確認してみたので、両者に不整合があると国保連からは〇〇されることが理解できた。 	
給付管理業務とモニタリングの関連性の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付管理票の作成過程でサービスが予定どおり利用されていないことが判明した場合は、計画に無理があったのか、利用者の状況に変化が生じているのかなど、利用者に面接して確認することが重要であることが理解できた。 	